

オオタバコガ (tabacco budworm)

Helicoverpa armigera



粘着板に捕獲された成虫



ナスに寄生する幼虫

発生生態

成虫は20mm程度、全体は淡褐色で羽の外縁は黒色です。年3回発生し、蛹で越冬します。

幼虫はアブラナ科、ナス科野菜などに寄生し、葉を食害するほか、花や果実にも食入することもあります。また、近年アズキの被害が増加しています。

防除対策

老齢幼虫は薬剤の効果が高いので老齢幼虫の発見に努めます。ほ場を観察し、幼虫の発生を確認したら速やかに捕殺又は薬剤散布を行います。

幼虫が食入している果実は処分します。